

「国語総合」学習指導案

MetaMoJi 活用

- 1 日 時 令和3年2月18日(木) 第2限
- 2 指導者 奥村秀雄
- 3 クラス ビジネス情報科 1年A組(34名)
- 4 科目・単元 国語総合 古文『伊勢物語』「筒井筒」(8時間中7時間目)
- 5 本時の目標
 - ・平安時代と現代の文化や人の考え方の違いを踏まえながら、登場人物の心情に迫ることで、人間の普遍的な部分を実感する。(読む能力)
 - ・自分の考えを伝えメンバーの考えを聞き、まとめる。(話す・聞く能力)
 - ・タブレットや MetaMoJi の使い方を理解し、操作に慣れる。

6 本時の展開

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動及び指導上の留意点
3分	タブレットの準備	・MetaMoJiのクラスボックスから本時の「ノート」を開く。	・生徒の機器の準備の支援
7分	ワークシート(紙)で前時の復習	・問題を解く形式での前時の授業内容の復習。 ・各自取り組んだ後、ペアで確認しスクリーンで答え合わせ。	・適宜、机間指導
2分	本時の課題の確認 「大和の女の本当の思いを考えてまとめる」		・「悪しと思へる気色もなくて…」と書かれているが、本当はどうだったのか問いかける。
3分	音読	・該当部分を人物の心情を想像しながら、ペアで音読する。	・適宜、机間指導
8分	心情の読み取り	・各自「大和の女」の心情を考えて、メタモジ MetaMoJi で記入しながらまとめる。	・適宜、机間指導を行うとともに、モニターで生徒の活動状況を把握する。 ・「本当は嫉妬している」で終わっている生徒には、「どうして夫の道中を心配する歌を詠んだか」など、女が直接自分の思いを伝えない理由を考えさせる。 ・「化粧」の理由を考えさせる。

5分	グループで意見の交流	・メンバーのページをグループの皆で見ながら、意見の交流をする。	・席をグループの形に移動させる。
10分	グループの意見をまとめる	・「グループ学習のページ」を使用し、グループの皆で1枚のページに書き込みながらまとめる。	・メンバーの意見の共通点を中心にまとめるように指示する。
10分	発表	・スクリーンに表示されたものを教師が読み上げて発表とする。	・時間に余裕があれば生徒に発表させる。
2分	まとめ	・平安時代と現代の文化や人の考え方の違いを踏まえながら、人間の普遍的な部分にふれながらまとめる。	

★メタモジの活用について

【MetaMoji 活用場面】

- ・ MetaMoji 上で登場人物の心情について各自で考え、グループのメンバーでそれを共有した。
- ・ 生徒の活動状況をモニタリングした。
- ・ MetaMoji 「グループ学習のページ」を使用し、グループの皆が一枚のページに書き込みながらまとめた。
- ・ スクリーンに拡大表示し、グループ毎の発表をした。



【 MetaMoji 活用の意図 】

〈 生徒の活動 〉

- ・ 各自が読み取る際、すぐに書けない生徒が自由に他の生徒のシートを見て参考にする。
- ・ グループの意見交流の際、互いのシートを見ながら交流する。
- ・ 各自のタブレットからグループのシートに書き込み、発表のためにまとめる。

〈 教師の活動 〉

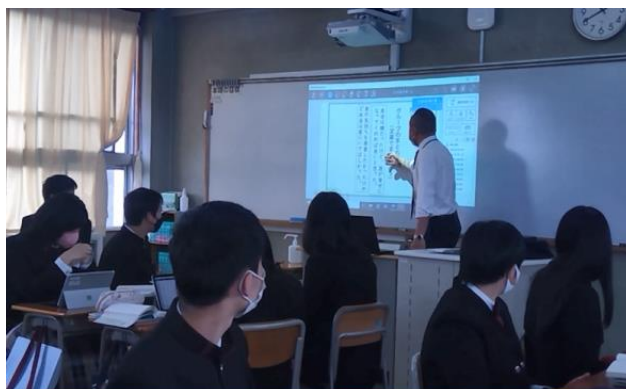
- ・ スクリーンで複数のグループの発表を比較する。
- ・ モニターで生徒の活動状況を把握しながら、その進捗状況に合わせて声かけやシートへの書き込みなどの支援を行う。

【 MetaMoJi 活用の成果 】

- ・互いの意見を見ることのできる機能を使うことで、今まで埋もれてしまっていた意見をすくい上げることができた。
- ・MetaMoJi に不慣れであったことや機能を十分に理解していなかったことから、意図した成果は十分には得られなかった。

【 今後の課題 】

- ・長い文章を MetaMoJi 上で書くのは時間がかかり、紙のノートやワークシートに実際に書き込んだ方が速い。紙に書いたものを写真にとって MetaMoJi 上に貼り付ける方法の方が効率的である。MetaMoJi に書き込むのは穴埋めなど単語にとどめた方がよさそうである。
- ・「グループ学習のページ」にするとそれまで「個別学習」で記入したページに戻れなくなり、自分が書いたものを見ながら、「グループ学習」をすることができなかった（できないことに授業中に気づいた）。その結果、個別学習ページでグループの意見をまとめることになり、一枚のシートに皆で記入することができず、結局グループの一人が書き込むことになった。またモニタリングするときや発表の際、クラス全員分が表示されてしまうため、どこにグループのまとめがあるのかを見つけるのに手間取った。（ひとつのノートの中でシートの設定を途中で変えると元のものが見えなくなる。作る段階でページそれぞれを「個別学習」「グループ学習」に分けておくとよい。）
- ・良い意見に投票することを計画したが「投票」の機能はないため、読んだ者が良いと思ったノートにスタンプを押すようにしてもよい。声かけは残らないがスタンプは残るため、後から振り返ることもできる。○やコメントもよい。批判的なコメントやいじめにつながるようなコメントを書き込むことが懸念されるが、書き込んだログが残る（誰が書き込んだかわかる）ため、指導することも可能である。
- ・本時はなるべくたくさんの場面で MetaMoJi を使うように計画したが、実際は場面やポイントを絞った使い方をすべきであった。MetaMoJi だけで授業を完結させようとするのではなく、補助的に使うようにするとよいと感じた。例えば紙上でまとめた上で、発表するために MetaMoJi 上で写真を入れたりフォントや色を変えたりして、体裁を整えるなどの場面で利用する。
- ・事前に1時間、MetaMoJi の操作の練習をする時間を設けたが、普段の授業では1時間毎に一つの操作を習得するなど少しずつ慣れていくようにしたい。



- ・授業の計画の段階では、生徒の動きを十分にシミュレーションできないため、いざ授業に臨んで初めて分かることがある。授業の中で少しずつ使っていきながら、生徒も教員も慣れていくしかないと感じた。
- ・また、生徒はスマホからもログインできるため、課題によっては写真を撮ってスマホから提出することもできる。
- ・今回「大和の女」の本当の思いを考えたが、さらに内容を絞り込んで、「なぜ化粧をしたのか」を考えさせても面白かった。